

2019/12/11 第123回 運輸の日

場 所：東神トラックステーション

配布数：43部

行動者：今井 勇（ヤマト運輸 厚木）

伊丹 正彦（ヤマト運輸 横浜）

阪本志津喜（日新）

名張 徳亮（日新）

原 健一郎（セイノースーパーエクスプレス）

中野 一徳（全日通 神奈川支部）



東神トラックステーションにて、『第123回運輸の日』を実施しました。

本日から通常の行動取り組みとなり、担当は横浜地区連絡協議会のメンバー5名と今井組織部委員長が参加して、『安全への呼びかけ』と『改善基準告示を知っていますか？』と長すぎる労働時間について話を聞きました。

今日の東神TSは、朝から満車状態！さらに気温も上がり行動日和になりました。

今回から始める『クリーン調査』の提案者である名張委員長代行から「施設内のある一定の場所を清掃し、翌月の運輸の日ではどうなっているのか？また、何故、ポイ捨てしてしまうのか？などを調査する。場合によってはドライバーの皆さんに『施設の緑地帯へのゴミの投げ捨てをしないようにするには？』などの設問も必要ではないか？」と趣旨説明がされました。

改善基準告示については、「知ってるよ！」「会社がここ最近うるさくなってきた」などの声がありました。

○知っているが、それが改定されても、実際の守れるのか？賃金が減るのは困る。

- 知らない。時間を言われても。。。行っていくらだから。
- 気にしたことがないし、会社からも何も言われていない。
- 最近知ったが、長距離をやっていると、どこまでが仕事時間なのかわからない。
- 知っている。会社は労働時間を守っているようだ。それ以上はわからない。

清掃活動では、入口側を選定し全員で行動しました。先月のクリーンキャンペーンにて清掃を行いましたが残念です。1時間30分の行動でゴミがいっぱいになりました。何故ポイ捨てるのでしょうか？色々考えられますが、自分たちの休憩施設です。もう少し気を使って欲しいです。

行動者からの感想



今井：12月11日に神奈川県連運輸の日、東神トラックステーションでアンケート調査、敷地内の清掃をしました。安全ピーアール、労働組合ピーアールと調査では改善基準告示についての認知度を聞きました。残念ながら理解度はゼロでした。働き方改革関連法で、適用除外となったドライバーですが、月293時間、6回まで320時間。年間3516時間の拘束。これは過労死ラインを超える時間になりえることから、各企業も現行をしっかりと守ってほしい。午後からは、清掃活動でゴミが大変多く、我々のレベルでは無いと痛感しました。清掃は敷地内の一部分を継続して行い経過を見ていきます。



名張：午前中は改善基準告知のことを運転手に聞きながら運輸労連のリーフレットを配布しました。改善基準告知について内容を理解している運転手は少なく、会社の指示通り動いているから問題ないとのことでした。午後からは東神TSの清掃と活動を変えて取り掛かりました。まー汚い！ボランティアでやるようなレベルじゃない！業者いれてやれ！そんなことをグチりながら小一時間頑張りました。労働組合へ職場環境をより良くしてほしいと言われますし、それに応えるのが私たちの仕事ではありますが、ゴミはゴミ箱に！それぐらいは自分たちでしていただきたいものだと思っただけ1日でした。

伊丹：本日は運輸の日として東新トラックステーションで活動を行いました。午前中は改善基準時間を知っているかのアンケート調査をしましたが、ほとんどの方が知らないと言う回答でした。



午後からは敷地内のゴミ拾いを行いました。

数時間でしたが、非常に空き缶、ペットボトル、弁当箱、他、多くのゴミが有りました。今回綺麗にした所が次回どれだけ変化があるのか、楽しみです。

『どうすればポイ捨てが無くなるのか？』まずは雑草を綺麗に取り除いたり、コンクリートにしたり、芝生にしたりとか、何か改善策を考えていかないと、ポイ捨ては無くならないと思いました。地道な作業を通じてドライバーの方に少しでも気付いて頂ければと思います。良い改善策を皆さんで考えて取り組んで行きたいと思います。



原：12月ながら本日（11日）は晴天に恵まればかばか陽気でした。第123回運輸の日として、午前中はアンケート調査、午後からは清掃活動に参加しました。東神トラックステーションは、北は北海道、南は九州と日本全国のナンバーが並び、満杯状態でした。ほとんどのトラックがカーテンを閉めて休憩しているなか、アンケートを実施しました。午後からの清掃活動は入り周辺にしぼり実施しましたが、先日のクリーンキャンペーンで綺麗にした所がゴミだらけでがっかりしました。少人数でしたが、大量のゴミを集め活動を終了しました。



阪本：本日は東神 T.S で開催の運輸の日は午前の部はパンフレットの配布と一言アンケートを行いました。

『改善基準告示』は知っている方もいましたが、あまり関心が内容でした。

午後は同 T.S 内の一部の清掃活動を行い多量のゴミを回収しましたが、生茂った樹木の根元や雑草の奥には木製のバレットや梱包資材などが廃棄してある状況でした。

緑地帯に投げ込んでいる人が多いのですが、フェンスの向こうは一般の生活道路、当然異臭がするし、気持ち悪いです。どうしたらこのような状態を改善できるのか？まずは敷地内を明るく見通し良くする為に、樹木と雑草の剪定や伐採を早急をお願いしたいです。トラックとトラックの間にゴミ箱が

あれば少しは良いのではないかなど、多くの改善策が頭をよぎりました。

第1歩として、雑草の撤去と、私たちが奥から拾ってきた何が入っているかわからないペットボトルは早急に撤去してもらいたいです。

利用しているドライバーのモラルが一番の問題だと思いたいますが…。



中野：今日の「運輸の日」は、午前中にアンケートを行い、午後からは緑地帯の清掃活動に取り組んだ。一時間半ほどで10袋位のごみを回収した。

食べ終わった弁当の入れ物やペットボトルが多かった。あまりのごみの多さにポイ捨てを平気でしてしまう運転手のモラルを疑ってしまう。

業界のレベルアップには、働くものの質も重要と改めて感じた。

